

2023年10月期通期

決算説明資料(抜粋)

株式会社pluszero (証券コード:5132)

2023年12月14日

2023年10月期通期 発表要旨

中期経営 目標

中期経営目標(23年1月公表)からの変更無し

- 26/10期目標
売上27億円(40%成長)、営業利益13億円(81%成長)
 - 成長率は22/10期からの4ヶ年平均
- 24/10期業績予想
売上11.8億円(32%成長)、営業利益2.0億円(28%成長)

24/10月期 業績予想

23/10月期 実績

売上は23%、営業利益は28%成長(前年同期比)

- 売上8.9億円(23%成長)、営業利益1.6億円(28%成長)
- 売上総利益5.3億円(21%成長)、当期純利益1.2億円(0%成長)

AEI

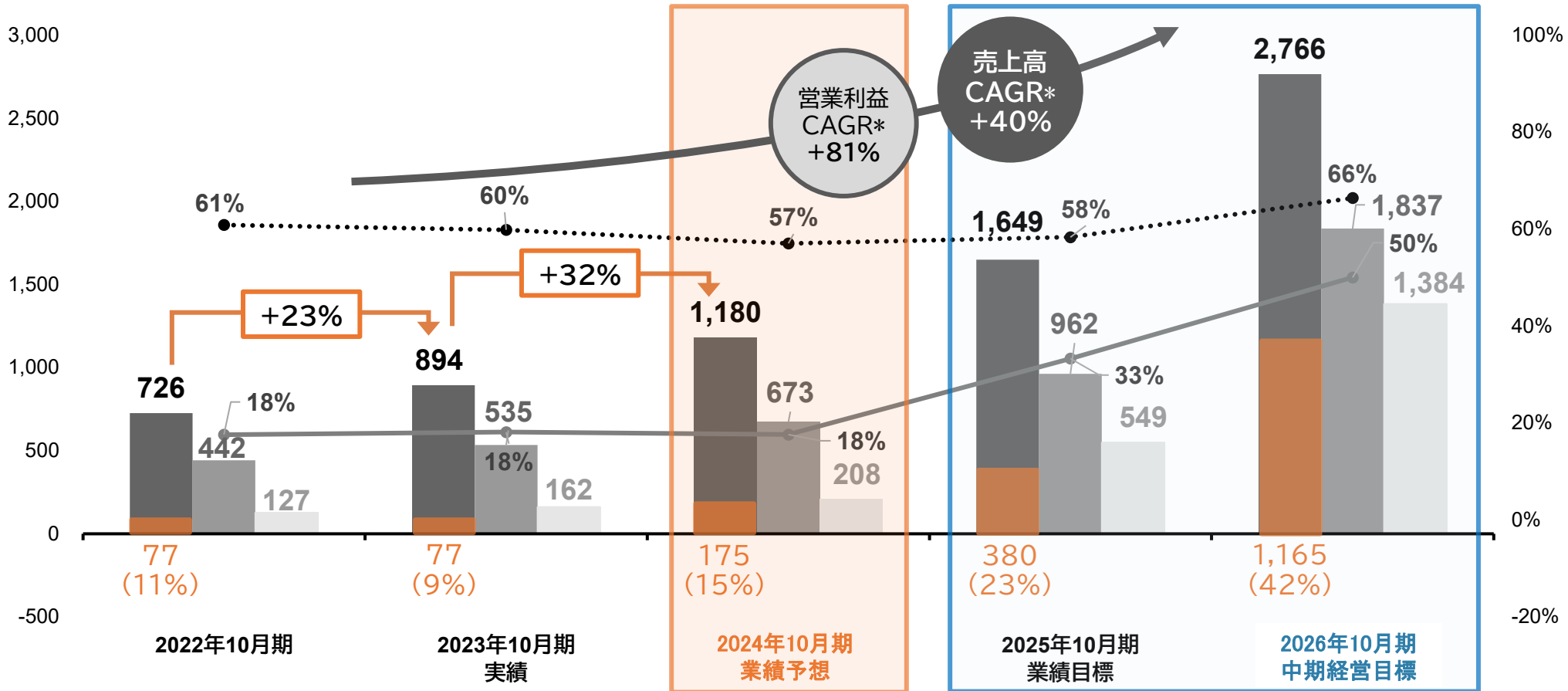
AEIはロードマップ通りに進捗

- 主要パートナー3社のサービス開発が順調に進捗

エグゼクティブサマリー(数値編)

- 2026年10月期を対象に中期経営目標を設定している。(2025年10月期はイメージ)
- 2024年10月期の業績予想は公表済の中期経営目標どおりとなっている。
- 業績のスケラビリティはAEI関連の成否次第となっている。

■ 売上高 ■ 売上総利益 ■ 営業利益 ●●● 売上総利益率(右軸) ●●● 営業利益率(右軸) ■ AEI関連売上高 (百万円)



+ zero

2023年10月期通期 発表要旨

中期経営 目標

中期経営目標(23年1月公表)からの変更無し

- 26/10期目標
売上27億円(40%成長)、営業利益13億円(81%成長)
 - 成長率は22/10期からの4ヶ年平均
- 24/10期業績予想
売上11.8億円(32%成長)、営業利益2.0億円(28%成長)

24/10月期 業績予想

23/10月期 実績

売上は23%、営業利益は28%成長(前年同期比)

- 売上8.9億円(23%成長)、営業利益1.6億円(28%成長)
- 売上総利益5.3億円(21%成長)、当期純利益1.2億円(0%成長)

AEI

AEIはロードマップ通りに進捗

- 主要パートナー3社のサービス開発が順調に進捗

2023年10月期通期決算ハイライト

	通期累積数字			通期予算数字		状況
	22/10期	23/10期	前年同期比	業績予想	業績進捗率	
売上高	726	894	23.1%	907	99%	<ul style="list-style-type: none"> 売上全体としては順調に推移 契約時期のズレに伴う1%の未達
ソリューション提供(除AEI)	648	816	25.9%	795	103%	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客の開拓・定着が進み業績予想を上回る25%超の成長
AEI関連	77	77	0.1%	112	69%	<ul style="list-style-type: none"> 中核案件に集中し、新規案件を抑制 期ズレが業績予想比△14%の影響
売上総利益 (売上総利益率)	441 (61%)	535 (60%)	21.2%	516 (58%)	104%	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値案件の受注で業績予想を上回る
営業利益 (営業利益率)	127 (18%)	162 (18%)	27.5%	159 (18%)	102%	<ul style="list-style-type: none"> 投資と利益創出のバランスを取り業績予想を上回る
当期純利益 (当期純利益率)	120 (17%)	120 (14%)	0.1%	108 (12%)	112%	<ul style="list-style-type: none"> 業績予想時の前期比減益から前期比増益で着地

2023年10月期通期 発表要旨

中期経営 目標

中期経営目標(23年1月公表)からの変更無し

- 26/10期目標
売上27億円(40%成長)、営業利益13億円(81%成長)
 - 成長率は22/10期からの4ヶ年平均
- 24/10期業績予想
売上11.8億円(32%成長)、営業利益2.0億円(28%成長)

24/10月期 業績予想

23/10月期 実績

売上は23%、営業利益は28%成長(前年同期比)

- 売上8.9億円(23%成長)、営業利益1.6億円(28%成長)
- 売上総利益5.3億円(21%成長)、当期純利益1.2億円(0%成長)

AEI

AEIはロードマップ通りに進捗

- 主要パートナー3社のサービス開発が順調に進捗

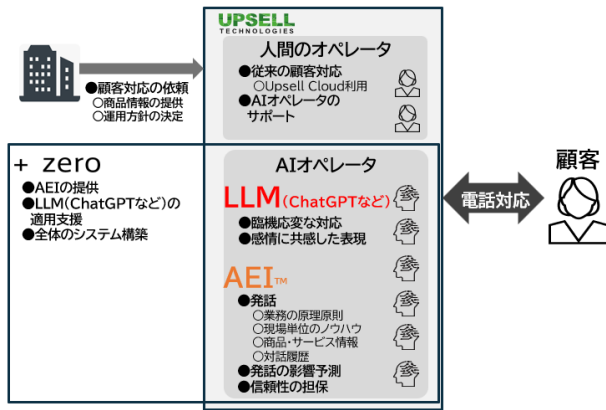
今期のAEIの重点対象

今期は①コールセンター型、②AIと人間の協働プラットフォーム、③生成AIを用いた設計の効率化の
 三つのAEIのソリューションが高確度で本格的に産業適用される予定。

いずれも、業務提携パートナーや業界関係者やメディアなどの評価が高く、今後の展開が期待大。
 消費者向けのソリューションも含まれており、今期中にAEIの高い知能を一般の方々が触れられる機
 会ができる公算が高い。

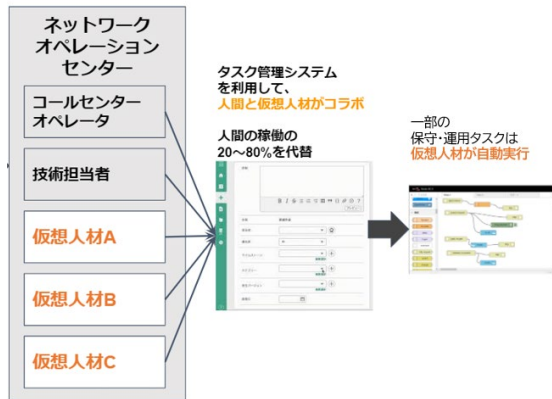
①コールセンター型のAEIの 洗練・拡販

24年前半には複数のエンドクライアントが利用を目指して開発中。
 コールセンター各社、エンドクライアントからのプロトタイプの評価が高い状況。



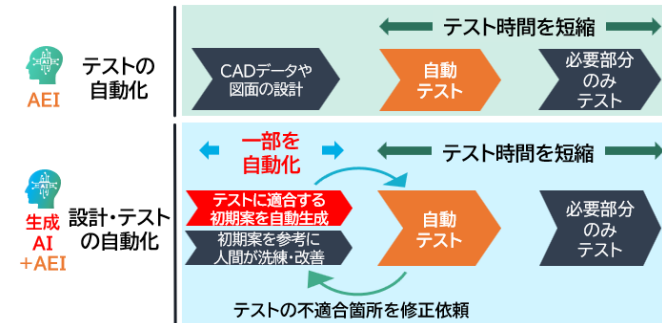
②AIと人間の協働 プラットフォームの産業適用

24年前半には稼働開始予定。
 丸紅グループ内への展開準備中。
 他の企業に対しての外販についても
 商談中。



③生成AIを用いた 製造業の設計の効率化

今期中に稼働開始予定。
 23年10月に日経XTech、
 日経ものづくりに掲載。
 先進事例として紹介。



資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。